

V 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

〈有形固定資産〉定額法による。

〈無形固定資産〉ソフトウェアについては、利用可能期間（5年）に基づく定額法による。

(2) 引当金の計上基準

〈貸倒引当金〉

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権及び破産更生債権等は個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当資産	21,737,842	9,764,579	2,633,950	28,868,471
センター整備資金積立資産	3,377,456	0	0	3,377,456
合 計	25,115,298	9,764,579	2,633,950	32,245,927

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
減価償却引当資産	28,868,471	(0)	(28,868,471)	(0)
センター整備資金積立資産	3,377,456	(0)	(3,377,456)	(0)
合 計	32,245,927	(0)	(32,245,927)	(0)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	11,305,280	6,783,168	4,522,112
什器備品	24,769,747	16,329,553	8,440,194
ソフトウェア	14,190,000	5,755,750	8,434,250
合 計	50,265,027	28,868,471	21,396,556

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当 期 未 残 高	貸借対照表上 の記載区分
連合交付金	厚生労働省	0	77,986,000	76,789,000	1,197,000	流動負債
運営費補助事業	(補助事業者) 福岡県シルバー人材センター連合会	0	77,986,000	76,789,000	1,197,000	流動負債
福岡市補助金	福 岡 市	0	79,658,000	79,658,000	0	—
合 計		0	157,644,000	156,447,000	1,197,000	